

第1シリーズ

総合的診療を学ぶ 特訓ゼミ

ブラックジャックによろしく／佐藤秀峰／漫画 on web

志高きものよ。
いざ、茨城へ!



全国から注目される「若手医師教育研修立県いばらき」の取り組み

将来の医療を担う若手医師・医学生が集結!

～2017年度もいよいよスタート～

茨城県は、好評で4年目となった「総合的診療を学ぶ特訓ゼミ」を今年も開催します。全国の若手医師・医学生を対象に総合的診療について考え、臨床技術を磨く全2シリーズのゼミです。講師には、若手医師に人気の徳田安春氏が総合監修を務め、国内の講師陣が脇を固めます。ゼミは実践に活用できる「ケーススタディ式」で進められ、参加者も自ら考えることで全人医療を実践できるマインドとスキルの習得を目指すセミナーです。また、並行して若手医師向けに腹部救急診療トレーニングコース(AbdEMeT)を開催し、実践的なスキルを養成します。



様々な分野の勉強は、大変モチベーションアップになりました

他の病院、大学の方と話しあう機会はありませんでした、とても刺激になりました

～昨年度参加者アンケートより～



総合監修

徳田 安春氏

群星冲縄

臨床研修センター長

(茨城県地域医療支援センター
特別講師)

全人医療の実践に必要なマインドとスキルを習得できる絶好の機会を見逃すな!

総合診療のハイレベルな臨床能力を身につけることができれば、地域・僻地のみならず、都市部の救急・初診・在宅・災害・国際医療などのさまざまな医療ニーズに適切に対応することができます。この特訓ゼミシリーズでは、茨城県内に加えて国内から卓越した講師陣を揃え、ケーススタディー方式で学習を進めます。このゼミに参加することにより、全人医療実践のためのスキルを習得し、日本の医療シーンにイノベーションを展開していきましょう。

参加者募集

全国の若手医師・医学生対象!

実力派講師による集中ゼミ(臨床推論5番勝負)および腹部救急診療トレーニングを並行実施

対象 全国の若手医師・**80名**
医学生

臨床推論5番勝負(定員: 74名)
腹部救急診療トレーニング(定員: 6名)

日程 平成29年**8/11**(金) 13:00～19:50(予定)

場所 **つくば国際会議場**
茨城県つくば市竹園 2-20-3

参加費 **2,000円** ※エリアごとに旅費補助として、下記金額を支給させていただきます(当日支給)。
茨城県以外の関東: 3,000円 関東以外の本州: 10,000円 本州以外: 15,000円



つくば駅 A3 出口を出て、バスロータリーに沿って右に進み、階段を上り、遊歩道を直進およそ 800m。

お申し込み

茨城県総合的診療を学ぶ特訓ゼミ専用
ホームページからお申し込みください

茨城 特訓ゼミ

検索



<http://jimukyoku.co.jp/ibaraki-tokkun/>

募集期間

平成**29年7月31**(月)まで

※申込者が募集定員を超えた場合、早めに募集を締め切り、抽選とさせていただきます。

主催

茨城県地域医療支援センター
(茨城県保健福祉部医療人材課 医師確保グループ内)

お問い合わせ

【総合的診療を学ぶ特訓ゼミ】運営受託会社 株式会社 日本経済広告社
TEL. 03-6869-0801
E-mail: ibaraki-tokkun@jimukyoku.co.jp



茨城県

タイムテーブル 8/11(金)		
時 間	内 容 (会 場)	
	臨床推論5番勝負 (定員 74 名) 大会議室 101	腹部救急診療トレーニング (定員6名) 小会議室 301
12:30～	受付	
13:00～13:20	オリエンテーション (大会議室 101)	
13:20～14:10	5番勝負① 群星沖縄臨床研修センター長 (茨城県地域医療支援センター特別講師) 徳田 安春 氏 「Quality Mortality & Morbidity Conference」 診断エラーは医事紛争の主要な原因の一つです。紛争となった診断エラーケースの多くはコモンなキラー疾患です。このセッションでは、診断エラーケースをTBLスタイルで学習することにより、臨床推論と診断の質、患者安全の向上につながります。	※全5時間 急性腹症ガイドラインに沿った、体系的な救急診療を学ぶための実践的トレーニングコースであるAbdEMeT方式 (Abdominal Emergency Medicine Traning course) で腹部救急診察スキルを身につけることができます。 【ディレクター】 富山大学医師キャリアパス創造センター 三原 弘 氏 【講師】 富山大学附属病院 岡澤 成佑 氏 埼玉協同病院 田中 宏昌 氏 水戸済生会総合病院 仁平 武 氏 株式会社日立製作所ひたちなか総合病院 丹下 善隆 氏 水戸協同病院 塚本 俊太郎 氏 【監修】 株式会社日立製作所ひたちなか総合病院 副院長兼循環器内科主任医長 山内 孝義 氏
14:20～15:10	5番勝負② 株式会社日立製作所ひたちなか総合病院 柴崎 俊一 氏 「“イマドキ” 高校生のお熱事情?!” 柴崎の救急総合内科の外来に、「不明熱」とのことで紹介された、高校生。診察に呼ぶと、男の私がみても“イケメン”で“イマドキのイケイケな高校生”がゲッソリとしながら入ってくるではないか!みんなで一緒にこの高校生を救ってあげよう!	
15:20～16:10	5番勝負③ 水戸協同病院 小林 裕幸 氏 「水戸協同病院闘魂外来 ～病歴は裏切らない～」 実際の症例を、時間軸に沿って情報を提示して、鑑別診断を立てながら、最終診断に至るプロセスをチーム討論の形式で楽しく学びます。これまでに経験したバイアスについても共有し、臨床推論の奥深さを勉強します。	
16:20～17:10	5番勝負④ 茨城県立こども病院 堀米 仁志 氏 「運動中や精神的緊張時にみられる学童の失神」 学校心臓検診やAEDの普及によって学童の心事故は明らかに減少していますが、不整脈や心疾患の症状として重要な失神の鑑別診断について、あらためて考えてみましょう。	
17:20～18:10	5番勝負⑤ 土浦協同病院なめがた地域医療センター 湯原 孝典 氏 「49歳男性の発熱、頭痛と多彩な血液検査異常 診断は極めて慎重に!」 49歳の男性が発熱と頭痛のため来院、血液検査で肝障害などの異常あり。この男性が罹患している疾患は何でしょうか、診断しましょう。その際、エラーを避けるため、診断過程にバイアスが関与していないか、常に意識することが重要です。	
18:20～19:50	交流会 (臨床推論5番勝負表彰式・記念撮影) 大会議室 102	

※上記スケジュールは現時点での予定であり、当日までに変更となる場合があります。

臨床推論5番勝負について

- 目的
さまざまな症状から臨床推論を行い、医師としての基本的な知識と技術の向上を主としながら、患者さんの病歴と身体所見などを考慮した診断と、患者さんの意向や生活の質も視野に据えた治療判断の重要性について考えます。
- 形式
グループワーク(グループごとの議論・発表)
- 講義内容(各50分)
病歴と身体診察からの鑑別診断、検査の選択／全ての臨床情報を踏まえた最終診断／QOLや患者さんの意向を考慮した治療法の選択／その後の経過とまとめ